

令和7年度大学入学共通テストにおける新教育課程対応について (②経過措置)

資料3-1
(大学入試センター提出資料)

経過措置

- 「地理歴史」「公民」「数学①②」については、旧教育課程履修者のみが選択可能な試験科目を出題する。
※なお、「理科」については、新旧の学習指導要領及び教科書での扱いが異なる内容に関しては、必要に応じて、旧教育課程履修者が選択解答可能な問題を出題する可能性がある。
- 「情報」については、旧教育課程において対応する試験科目がないため、経過措置問題を作成する場合、作成しない場合のいずれにおいても考慮すべき課題がある。

大学入試センターの共通テスト企画委員会における検討状況

新旧の教科「情報」の目標・内容が大きく異なる中で、『情報Ⅰ』と同等の難易度の試験問題を作成することには困難を伴い、経過措置問題を作成した場合、試験実施後に公平性の問題を指摘される可能性があり、結論は得られていない。

【各団体の意見を踏まえた論点】

団体の意見の中には、当該案とする場合の以下の条件が示されているものもあり、それらについて検討が必要。

<A案（経過措置問題を作成する）とする場合>

- ・導入初年度である令和7年度試験では、『情報Ⅰ』を課すのは、その必要性が特に高い大学に限定すること。
- ・旧教育課程を履修している高校生に対し、浪人したら現在出題されていない「情報」の科目を受けることになるということについて理解を得ること。
- ・『旧情報(仮)』は「社会と情報」「情報の科学」のどちらの履修者も不利のない問題とすること。また、難易度は『情報Ⅰ』と同等にし、得点調整の対象とすること。

<B案（経過措置問題を作成しない）とする場合>

- ・各大学が『情報Ⅰ』を課す場合の配慮に関する指針が示されること。
- ・新教育課程履修者と旧教育課程履修者で科目数が異ならないようにすること。

令和7年度大学入学共通テストにおける旧教育課程履修者への配慮

赤字…科目単位での経過措置を行う予定の科目、青字…対応問題での経過措置を行う可能性のある科目

	現 行	令和7年度以降
国語	『国語』	『国語』
地理歴史	<p>『世界史A』</p> <p>『世界史B』</p> <p>『日本史A』</p> <p>『日本史B』</p> <p>『地理A』</p> <p>『地理B』</p>	<p>『地理総合，地理探究』</p> <p>『歴史総合，日本史探究』</p> <p>『歴史総合，世界史探究』</p> <p>『地理総合，歴史総合，公共』</p>
公民	<p>『現代社会』</p> <p>『倫理』</p> <p>『政治・経済』</p> <p>『倫理、政治・経済』</p>	<p>『公共，倫理』</p> <p>『公共，政治・経済』</p> <p>『地理総合，歴史総合，公共』（再掲）</p>
数学等	<p>『数学I』</p> <p>『数学I・数学A』</p> <p>『数学II』</p> <p>『数学II・数学B』</p> <p>『簿記・会計』</p> <p>『情報関係基礎』</p>	<p>『数学I，数学A』</p> <p>『数学I』</p> <p>『数学II，数学B，数学C』</p> <p>※数学Aについては、2項目の内容（図形の性質、場合の数と確率）に対応した出題とし、全てを解答 ※数学B及び数学Cについては、数学Bの2項目の内容（数列、統計的な推測）及び数学Cの2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）に対応した出題とし、このうち3項目の内容の問題を選択解答</p>
理科	<p>『物理基礎』</p> <p>『化学基礎』</p> <p>『生物基礎』</p> <p>『地学基礎』</p> <p>『物理』</p> <p>『化学』</p> <p>『生物』</p> <p>『地学』</p>	<p>『物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎』</p> <p>『物理』</p> <p>『化学』</p> <p>『生物』</p> <p>『地学』</p>
外国語	<p>『英語』</p> <p>『ドイツ語』</p> <p>『フランス語』</p> <p>『中国語』</p> <p>『韓国語』</p>	<p>『英語』</p> <p>『ドイツ語』</p> <p>『フランス語』</p> <p>『中国語』</p> <p>『韓国語』</p>
情報	—	『情報I』

※なお、旧教育課程履修者が選択可能な試験科目の試験時間は、新教育課程履修者が同じ試験時間帯において受験する試験科目と同じとする。